

## 報時付時計 取扱説明書 (置掛兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造  
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
https://www.rhythm.co.jp

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

#### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

#### お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4RH○○○、4MJ○○○

(フリーダイヤル)  
**お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2210)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

#### ■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

### 保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

### 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

#### 図記号の説明

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

#### ⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

⊘ 梱包用のポリ袋をかぶらない  
窒息する恐れがあります。

⊘ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

#### ⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ 電池の⊕⊖を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

⊘ 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。

⊘ めれた手でさわらない  
さびや故障の原因になります。

⊘ 分解や改造をしない  
けがや故障の原因になります。

⊘ 下記のような場所では使わない  
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が0℃以下または+40℃以上の所。
- 火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

### 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

#### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 時計が動いていても定期的に変換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手の届かない所に置く。

#### ■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。  
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

#### ■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

### おもな製品仕様

使用温湿度 0~40℃、85%RH以下 \*結露しないこと  
時間精度 平均月差±20秒(温度が5~35℃のときのクオーツ精度)  
推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1個  
電池寿命 約1年  
(報時17回/日 ※正時と30分のセットを1回として、暗所鳴り止めを7時間とした場合)

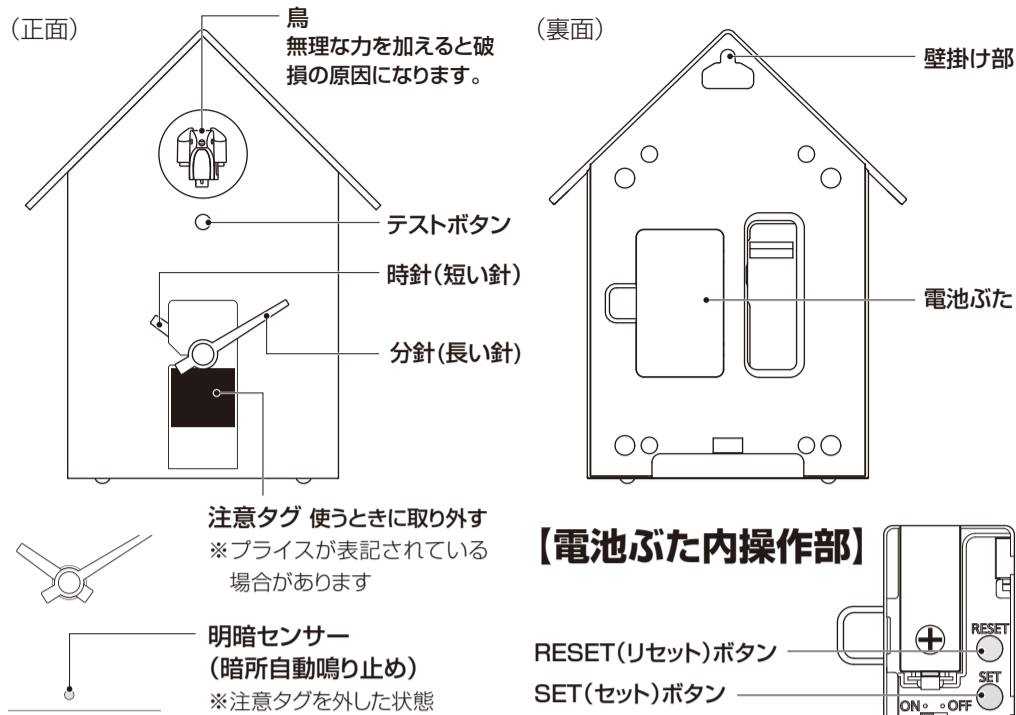
報時機能 毎正時および30分にお知らせ  
報時精度 表示時刻に対して±1分以内  
報時音 ふいご式  
報時ON/OFF スライドスイッチ  
自動鳴り止め 明暗センサーに連動して暗になると報時を停止  
音量調節 なし  
防滴防塵機能 なし

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。  
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、 取扱説明書・保証書 本書

## 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



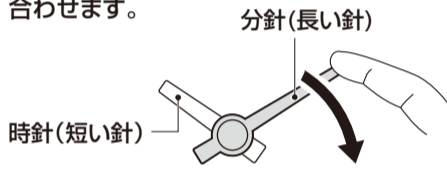
**注意タグ** 使うときに取り外す  
※ プライスが表記されている場合があります

**明暗センサー**  
(暗所自動鳴り止め)  
※ 注意タグを外した状態

商品によっては前面を透明カバーで保護しているものがあります。時計を使用する際は、取り外してください。

## 【時刻の合わせかた】

分針をゆっくりと、必ず右周りに回して時刻を合わせます。



**時計や鳥には触れない**  
時間違い、破損、故障の原因になります。

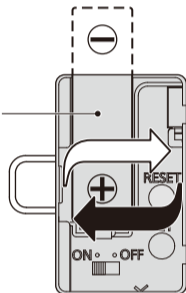
## 【電池の入れかた】

⇒取り外す ←取り付ける  
電池ふた

単3形アルカリ乾電池(推奨)  
電池は、⊖側を上にして電池ホルダーに入れ、⊕側を下から押し込んでください。



電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。



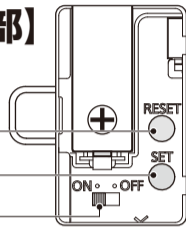
## 【電池ふた内操作部】

RESET(リセット)ボタン  
SET(セット)ボタン  
報時スイッチ

ON : 毎正時 時刻に対応した数だけ鳴る  
毎30分 1回鳴る

※明暗センサーにより暗い所では鳴りません。

OFF : 報時しない



電池は付属していません。単3形アルカリ乾電池を1個ご用意ください。

## 時計の使いかた

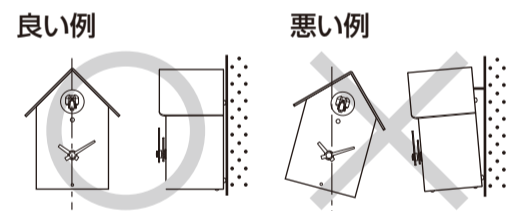
- 注意タグや包装部材(透明カバーなど)を取り外す**
- 分針(長い針)を指でゆっくりと、必ず右周りに回して5時50分に合わせる** 【時刻の合わせかた】参照  
※時刻と報時回数を合わせるための作業です。必ず行ってください。
- 電池ふたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる** 【電池の入れかた】参照  
正しく入れると鳥が5回動いて鳴ります。  
※電池を短い時間に着脱を繰り返すと鳥は動きません。
- RESETを押す**  
電池ふた内操作部の「RESET」を押してすぐ離してください。報時が「5時」にセットされ、鳥が5回動いて鳴ります。  
※誤作動を防ぐために、電池を入れた後は必ず押してください。  
※報時している途中でも押せます。
- 分針(長い針)を指でゆっくりと、必ず右周りに回して時刻を合わせる** 【時刻の合わせかた】参照  
※報時している途中でも時刻を合わせることができます。
- テストボタンを押す**  
テストボタンを押すと、⑤で合わせた「時」の数だけ鳥が動いて鳴ります。  
例) 2時55分の場合は、2回、10時8分の場合は10回鳴ります。
- 報時スイッチを設定する** 【電池ふた内操作部】参照  
報時スイッチをONにすると毎正時になると鳥が動き、鳴き声の数で時刻をお知らせします。OFFにすると鳴りません。 ※出荷時の設定はOFFです。  
※設定後は電池ふたを取り付けてください。

## 報時について

- 電池を入れた直後またはRESETを押すと5回鳴ります。
- 暗い所の場合、報時スイッチがONでも、上記の③～⑤では報時をしません。
- 報時スイッチがOFFでも、上記の③④、⑥では報時しますが、⑤では報時しません。
- 報時回数は、分針が12の数字(0分)を通過するたびに1回増えます。分針が反時計回りで通過しても増えますので、時刻を合わせる際には、分針を必ず時計回りに回してください。
- 分針を指で回しているときは、30分に合わせても鳴りません。また、分針を指で回し終えた直後は、30分の報時がずれることがありますが、一度正時の報時をすると正常に戻ります。

## 時計の設置について

- 置いて使用するときは、転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。
- 掛けて使用するときは、「時計の掛けかた」に従い、垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 傾けた状態では正常に報時しません。

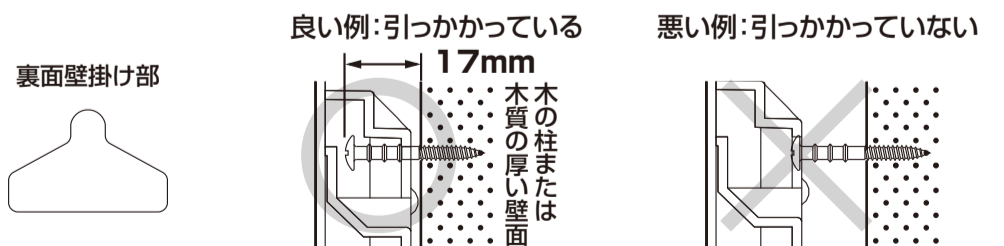


## 時計の掛けかた

- 注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。
- 壁掛け部の形状は、商品により異なることがあります。



## その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

## 明暗センサーのはたらき……………暗所自動鳴り止め

報時スイッチがONに設定されているときに機能します。  
明暗センサーが明るさを感知して、暗くなると報時を停止させます。  
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

## 報時の確認と修正について

### テストボタン(報時確認)

報時スイッチのON/OFFに関係なく、表示時刻に対応した数だけ鳴ります。  
※本体を傾けるなどして、鳥が出たままになってしまったときも正常に戻せます。

### 「SET」(セット)

報時回数が正しくないときに押します。  
1回押すと報時回数が1回増え、12回のときに押すと1回に戻ります。  
※報時回数の設定については、「時計の使いかた」もご参照ください。

## 電池の交換について

**注意** 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 電池は1年に1回、定期的に指定の電池に交換してください。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

## 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。